

農村現地研修に行ってきました！

令和7年12月26日

九州農政局（本局）が主催している若手職員を対象とした農村現地研修に宇城事業所から2名参加しました。農村現地研修とは、農家さんのお宅に宿泊し、農家さんの生活を体験することで、農業体験や農業関係者との意見交換を通じて、九州の農業の現状や課題を理解することを目的とした研修です。

私たちは、宇城市の隣町にある氷川町でミニトマトやメロンを栽培されている（株）氷川アグリクラブさんに受け入れていただき、12/1～12/12までの2週間、農村現地研修を行いました。（株）氷川アグリクラブさんは、土づくりにこだわり、農薬を極力抑えた安全・高品質な作物を生産されています。また、地域と共に歩み、食の喜びを届けることを目指し、研修や様々なイベントを通じて農業の魅力を発信されています。

研修を通じて、農作業や農家さんの生活を体験し、日々の細かな作業が品質を左右し、地域や人との繋がりで農業が成り立っていることを実感しました。

また、地域の農業経営者との意見交換にも参加させていただきました。意見交換を通じて、自然災害や価格変動等の様々なリスクとともに営農されていることを再認識しました。これらのリスクを軽減し、安定的な農業経営に少しでも寄与できるよう、私たち宇城農地整備事業は一日でも早い完了を目指し、事業推進してまいります。



ミニトマト収穫の様子



農業経営者の方との意見交換の様子



休憩時間の様子